

令和6年度第二回大阪狭山市立中学校部活動の地域移行協議会

令和6年(2024年)11月26日18:00~

於：市役所3階第2会議室

次第

1. はじめに
2. 近隣市の状況について
3. 視察について(資料1,2)
4. スケジュールについて(資料3)
5. その他
6. 諸連絡
第三回協議会について
7. おわりに



『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

新宿区

令和5年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
令和5年2月13日

事業名	部活動運営支援事業(部活動指導員配置等業務の民間委託化)	予算(案)の概要	77 ページ
予算額	令和5年度予算額 74,057 千円 (前年度予算額 0 千円)	(新規)	
取材先	教育委員会事務局教育支援課長 関本 (電話 03-3232-1051)		

令和5年度から、学校部活動運営支援業務の一部を民間提案制度を活用し、民間事業者へ委託することで、学校が求める人材を継続的に確保し、魅力ある学校づくり、教員の「働き方改革」を推進します。

1 学校部活動の現状及び課題

【現状】

現在、区立中学校では学校教育の一環として、運動部・文化部合わせて110以上の部活動を実施しており、生徒にとって望ましいスポーツや文化等の環境を構築するとともに、各校の特色に応じて、子ども達が主体的に学べる魅力ある学校づくりを推進しています。

【部活動における学校(教員)側の課題】

- 教員の異動によって部活動の存続が困難である
- 部活動の指導が教員の負担となっている。
 - ・ 授業準備・校務等に充てる時間が不足。
 - ・ 未経験の種目の顧問を任されている。



2 教育委員会におけるこれまでの取組

【「新宿区立学校における部活動ガイドライン」の策定】

平成30年6月に「新宿区立学校における部活動ガイドライン」を策定し、以下について規定するとともに、中学校と共有しました。

- ① 適切な指導の実施
- ② 運動部活動用指導手引きの活用
- ③ 適切な休養日等の設定



【部活動指導員の配置】

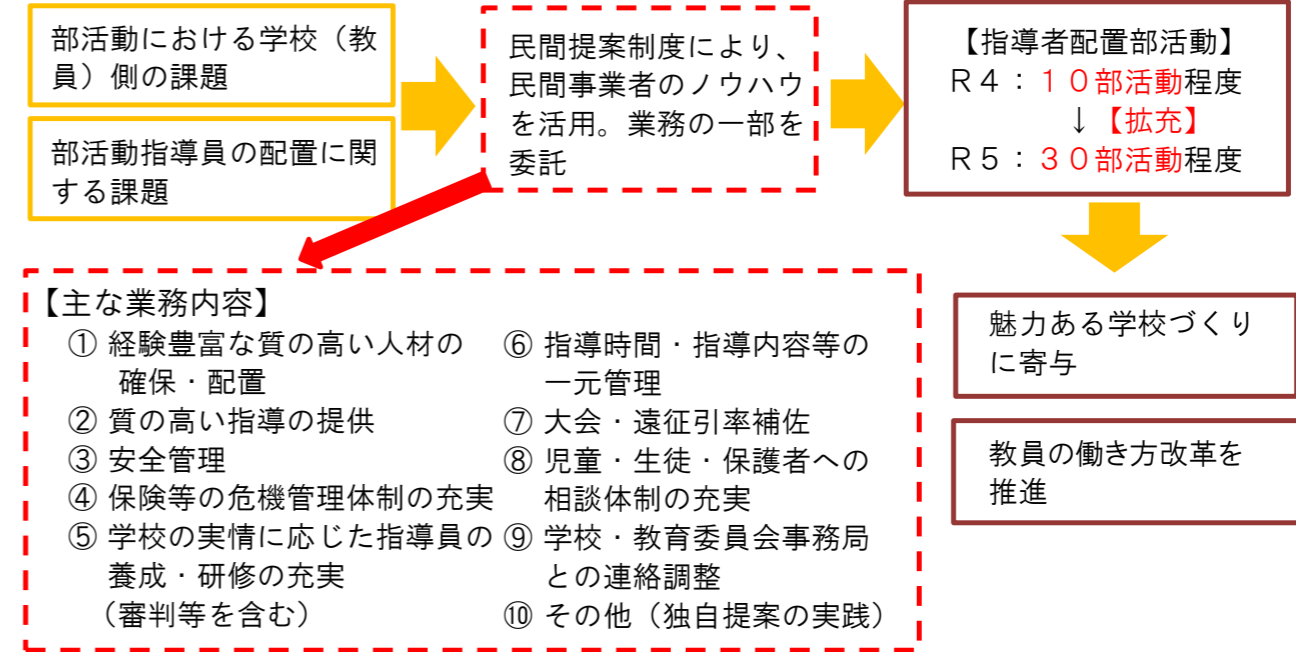
令和元年度から部活動指導員(会計年度任用職員)を配置し、教員の負担軽減を図りました。(定員13名)

【部活動指導員の配置に関する課題】

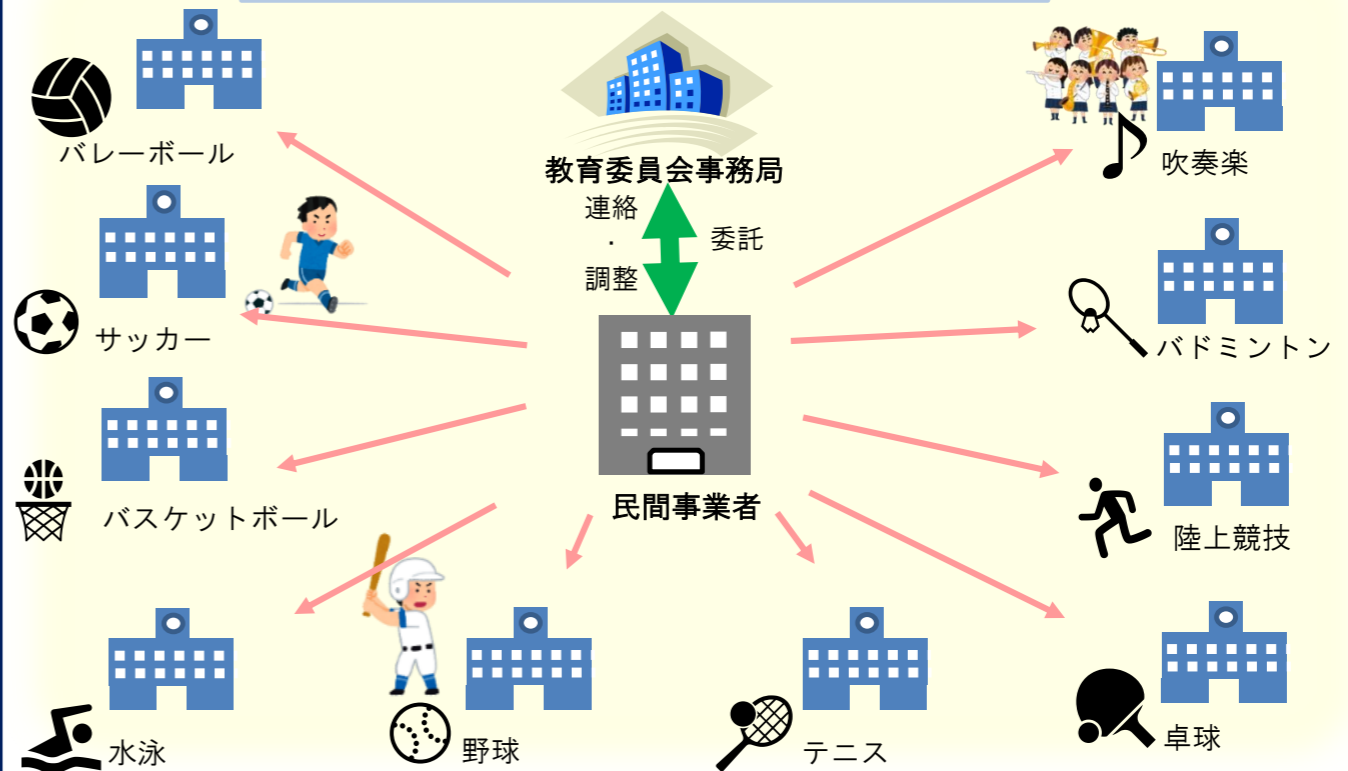
- 学校が求める指導種目等の条件を満たす人材の確保及びマッチングが困難。
- 部活動指導員が定着せず、同一の指導員を継続的に学校に配置できない。

3 民間提案制度を活用した学校部活動運営支援業務の一部民間委託化

民間提案制度を活用し、令和5年度から部活動指導員配置業務の一部を民間事業者へ委託します。民間事業者からの事業提案に基づき、学校が求めるより専門的で質の高い指導者を継続的に複数配置することにより、部活動を中心とした魅力ある学校づくりに寄与するとともに、教員の「働き方改革」を推進します。



学校部活動の民間委託化のイメージ



2026年 中学校部活動は「KOBE◆KATSU」へ

BE KOBE

神戸市教育委員会

「部活動」から「地域クラブ活動」へ



●部活動を取り巻く状況

子供たちの健やかな成長に大きな役割を果たしてきた部活動ですが、生徒数の減少等によるやむを得ない廃部や、単独で試合に出られない学校が大幅に増えるなど、今後子供たちの活動の選択肢がさらに少なくなることが危惧されます。また、これまで教員が自身の時間を削り、わずかな手当だけで支えてきましたが、全国的に教員不足が深刻化する中で、部活動の仕組みは限界に近づいています。



●「KOBE◆KATSU」への移行

神戸市では、部活動が果たしてきた役割を踏まえ、時代の変化に対応し、将来に渡って子供たちが主体的に選択し、多様な活動に参加できる機会を確保することを目的として、2026年度より平日・休日ともに、生徒が地域の方々とともに活動する

「神戸の地域クラブ活動」

= 「KOBE◆KATSU(コベカツ)」

への完全移行を目指します。

「KOBE◆KATSU」とは



「KOBE◆KATSU」コンセプト

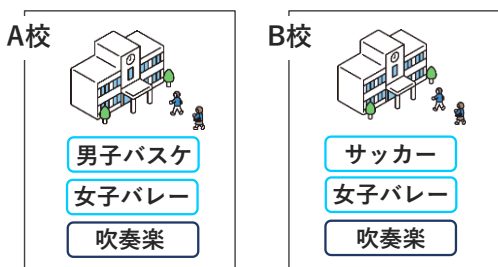
- 校区を越えて子供たち自身が「やりたいこと」を選んで活動します。
- 部活動になかった新種目や気軽に取り組める活動などニーズに合った活動の場を提供します。
- 子供たちが活動の主役となり、大人が一方向的に勝利至上を押し付けません。

- 地域のスポーツ団体をはじめとした幅広い団体が主体となり、中学校の施設を活用し、スポーツや文化活動など、子供たちに活動の場を提供します。
- 活動団体は登録制とし、教育委員会が公募し、審査を行った上で登録します。
- 「KOBE◆KATSU」の各クラブの運営に必要な最低限の費用は原則として各家庭にご負担いただく予定です。（会費制）

●校区を越えて参加できる「KOBE◆KATSU」クラブ

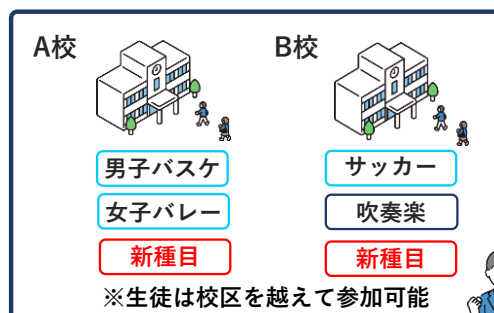
新種目を含めた選択肢から「やりたいこと」を選んで参加できます。

<これまでの学校部活動(例)>



※原則として生徒は各校の種目から選択

<KOBE◆KATSUクラブ(例)>



※生徒は校区を越えて参加可能



●部活動と「KOBEDAMASKATSU」の比較

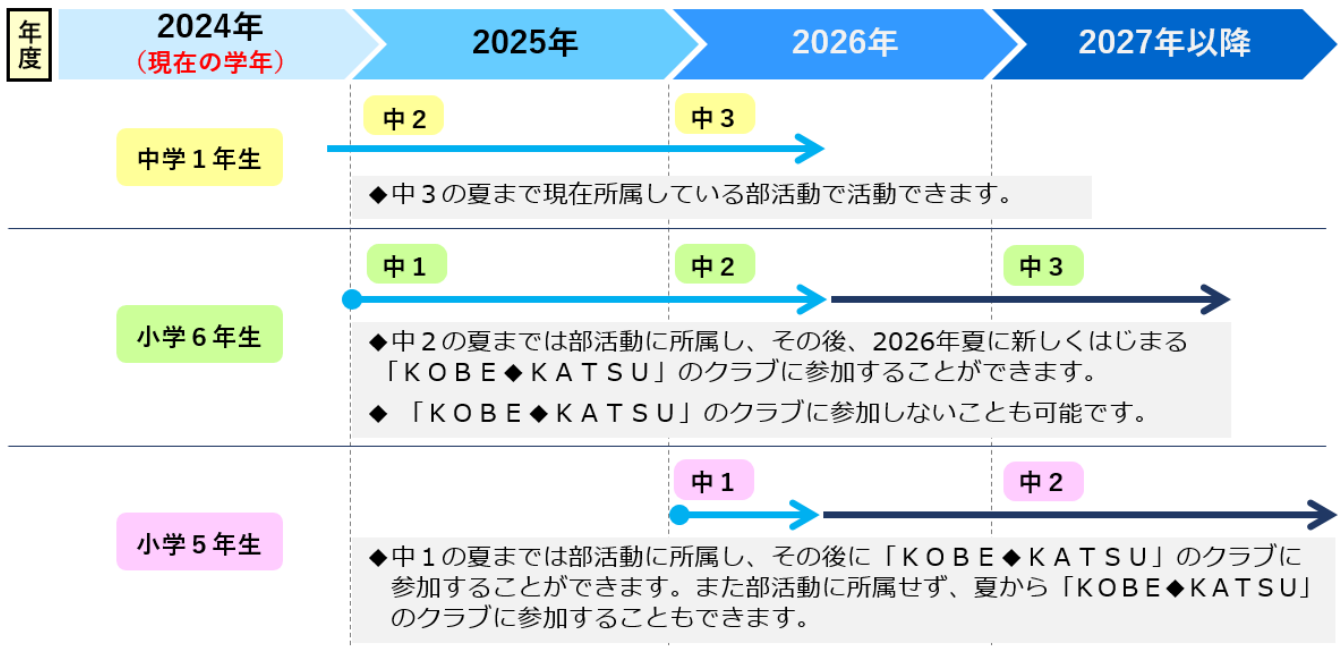
	中学校部活動	「KOBEDAMASKATSU」
運営主体	学校	地域の様々な団体（登録制）
指導者	教員、部活動指導員	地域の指導者、希望する教員（兼職兼業）
参加者	当該校の生徒	生徒等（参加範囲を柔軟に設定）
活動場所	学校施設	学校施設、地域の諸施設
費用負担	部費（実費相当）	月会費等
保険	日本スポーツ振興センター災害共済	スポーツ安全保険



移行までのスケジュール



●移行期間における対応



※2026年夏よりも前から先行実施する「KOBEDAMASKATSU」もあります。

子供たちがワクワクするような活動となるよう取り組みを進めていきます。
 取り組み状況やよくある質問と回答（Q&A）は随時更新しますのでこちらをご覧ください。➡

神戸市教育委員会 児童生徒課



スケジュール（案）

資料3

年度	2024(令和6)	2025(令和7)	2026(令和8)	2027(令和9)	2028(令和10)
実施内容	中学校の部活動（～2027年9月頃まで）				2027年9月頃～ 地域移行開始 (平日・休日)
	実証事業、地域移行先行実施				
	生徒・保護者への説明 情報発信				
	協議会				

今後の各学年の動き（案）

現在の学年	今後の動き
中学1年	中学3年まで部活動
小学6年	中学3年まで部活動
小学5年	中学2年の夏まで部活動。中学3年は「地域移行団体」の活動などに任意で参加
小学4年	中学1年の夏まで部活動。中学2・3年は「地域移行団体」の活動などに任意で参加
小学3年	「地域移行団体」の活動などに任意で参加